

## 釧路市立博物館

### 釧路の自然と海とのつながりを学ぶ

#### ～干潟・川・汽水をテーマに～

調査研究期間：平成31年1月1日（日）～令和元年6月30日（日）



#### 【調査研究の内容・目的】

- 北海道の中でも釧路地域には、広大な山林、日本最大の湿原、原始の姿を残す多数の蛇行河川等、様々な環境が存在することから独特かつ多様な生き物が生息する。一見、それらに生息する生き物は海と関わっていないようにみえるが、特に干潟や河川、汽水湖は影響を受けており、釧路の自然全体を構成する上で、釧路の海は重要な役割を担っている。
- そこで本調査では、干潟、河川、汽水湖に関して展示、調査研究を行っている博物館や研究施設を訪問し、それらと海の繋がりを学べるようなプログラムを開発、実施する。
- プログラムを開発、実施することで、参加者は一見すると海と繋がっていないように見える様々な環境や生き物も、その恩恵を受けていることを理解できる。また、観察会を通して釧路の海の多様な役割について知って頂く機会を提供できる。

# 1. 調査研究内容の詳細

## 【調査研究代表者】

■釧路市立博物館・学芸員 貞國利夫

## 【調査研究分担者】

■釧路市立博物館・学芸員 野本和宏

■釧路市立博物館・学芸員 土屋慶丞

## 【実施計画】

■2カ年計画1年目

## 【主な調査研究対象など】

■干潟の鳥類、河川の魚類、汽水湖の昆虫に関する知見の調査

■干潟、河川、汽水湖に関する観察プログラム事例の調査

■干潟、河川、汽水湖に関する収蔵資料調査



汽水性トンボの調査①  
(ホシザキグリーン財団)



汽水性トンボの調査②  
(三瓶自然観サヒメル)



干潟の鳥類の調査①  
(神奈川県立生命の星・地球博物館)



干潟の鳥類の調査②  
(神奈川県立生命の星・地球博物館)





河川の魚類の調査①  
(アクアマリンふくしま)



河川の魚類の調査②  
(千葉県立中央博物館)

## 1. 干潟の鳥類、河川の魚類、汽水湖の昆虫に関する知見の調査

### (1) 干潟の鳥類 (3月15日～17日実施)

特に神奈川県立生命の星・地球博物館では、神奈川の干潟に棲む鳥類、トウネンやキアシシギ等について学芸員の説明をうけながら、釧路の干潟でみられる鳥の種類との違いについて議論できた。

### (2) 海と川の魚類 (3月6日実施)

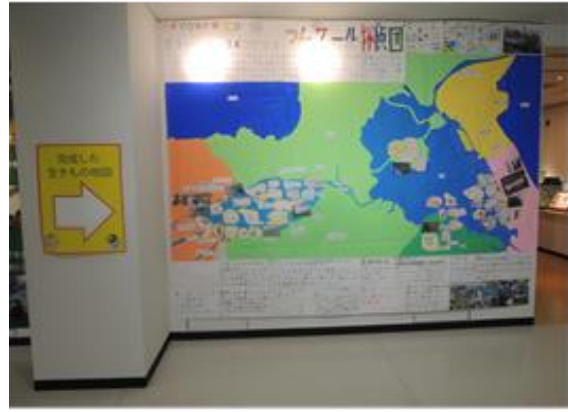
特にアクアマリンふくしまでは、河川の希少淡水生物調査と合わせて、同館が進める「弁財天ウナギプロジェクト」(ウナギやサケ科魚類などの河川生息保全がテーマ)についても、担当者の説明を受けながら、博物館施設が取り組む河川環境の保全と教育普及のあり方についても貴重な意見を伺うことができた。

### (3) 汽水湖の昆虫 (3月6日、7日実施)

ホシザキグリーン財団の林成多氏(3月6日)、三瓶自然館サヒメルの皆木宏明氏(3月7日)を訪問し、汽水性昆虫の研究情報について聞き取り調査を実施した。林氏からはラムサール条約登録湿地である宍道湖に生息する汽水性トンボ「ナゴヤサナエ」の現状に関する情報を収集した。



観察会プログラム「ゴビウス・スタディ」  
(宍道湖自然館ゴビウス)



市民参加型観察会で完成させた  
トンボマップ (宍道湖自然館ゴビウス)



海の生き物観察ノート  
(千葉県立中央博物館分館海の博物館)



観察会の様子  
(千葉県立中央博物館)



観察会開催方法聞き取り調査  
(茨城県自然博物館)



観察会・淡水生物調査の様子  
(アクアマリンふくしま)

## 2. 干潟、河川、汽水湖に関する観察プログラム事例の調査

### (1) 干潟の鳥類（3月15日～17日実施）

千葉県立中央博物館分館海の博物館では、企画展毎にパンフレットや海の生き物の観察ノートを製作している。その中に、「海の鳥を観察しよう」というプログラムがあり、製作過程や手法も含めて調査を行った。また、千葉県立中央博物館では「タブレットPCで野草の名前を調べてみよう」へ参加し、他館の観察会の実施の流れについても学んだ。

### (2) 海と川の魚類（3月6日実施）

アクアマリンふくしまでは、福島県内の木戸川などの河川に棲むサケやサクラマスなどの魚類の企画展や観察会などの河川環境保護に向けた教育普及プログラムをおこなっている。それらについて、地域住民、試験研究機関との連携方法や企画展で工夫した点など、担当者からの聞き取りなどをおこない、調査をおこなった。

### (3) 汽水湖の昆虫（3月6日実施）

宍道湖自然館ゴビウスでは「ラムサール探偵団」プログラム及びワークシート「ゴビウス・スタディ」を収集した。ホシザキグリーン財団ではナゴヤサナエの羽化観察会について調査した。





収蔵資料調査①  
(ホシザキグリーン財団)



収蔵資料調査②  
(比和自然科学博物館)



収蔵資料調査③  
(千葉県立中央博物館)



収蔵資料調査④  
(神奈川県立生命の星・地球博物館)



収蔵資料調査⑤  
(茨城県自然博物館)



収蔵資料調査⑥  
(アクアマリンふくしま)

### 3. 干潟、河川、汽水湖に関する収蔵資料調査

#### (1) 干潟の鳥類（3月15日～17日実施）

特に、千葉県立中央博物館では、干潟に関する多数の鳥類標本が収蔵されており、イソシギ、キョウジョシギの収蔵状況や生息地の情報について調査した。また、鳥類の情報収集の手法や、資料の活用方法について参考になる部分が多数あった。

#### (2) 海と川の魚類（3月6～8日実施）

アクアマリンふくしま、千葉県立中央博物館、茨城県自然博物館では、収蔵資料や収蔵方法についての調査をおこない、収蔵方法については各館ごとの創意工夫がみられ、大変参考になった。

#### (3) 汽水湖の昆虫（3月6～8日実施）

ホシザキグリーン財団（3月6日）、三瓶自然館サヒメル（3月7日）、比和自然科学博物館（3月8日）が所蔵する、汽水性昆虫標本の閲覧・撮影を行った。トンボ類ではナゴヤサナエ、セスジイトトンボなどの合計8種類の標本を閲覧・撮影した。

## 2. 本調査研究成果を基に計画・実施可能な 「海の学び」に繋がる博物館活動案

- 博物館活動の形態：干潟、河川、汽水湖をテーマ観察会の実施
- 実施時期：令和元年7～9月頃
- 実施場所：釧路市立博物館講堂、釧路市春採湖、釧路市釧路川、釧路市星が浦川河口

### 【実施内容】

■野外観察会「シギ・チドリを通して学ぼう！～海と干潟の関係～」  
干潟に棲むシギ・チドリの仲間を観察して、何を食べているか、どんな場所にいるかについて学び、そこから海と干潟の繋がりについて考えてもらう。見られた種類はビンゴ形式のワークシートに記入できるようにして、参加者の意欲向上を狙う。

■野外観察会「サクラマス産卵観察会～海と川と森のつながりを学ぶ～」  
サクラマスは川で生まれ、川へ下り海で成長した後に再び産卵のため川に遡上し、産卵後は死んでいく。そんな彼らの営みや産卵する河川環境について参加者が現地で学び、考える機会を提供する。実際に川の中を歩き、海で大きく成長したサクラマスが産卵する様子を目の当たりにすることで、座学では伝わりにくい、海と川の間繋がり大切さをリアルに学ぶことができる。

■野外観察会「調べてみよう春採湖の昆虫～春採湖のトンボ特集 汽水湖のなぞにせまる～」  
汽水湖である春採湖の水生昆虫を観察することで、淡水と海水が入り混じる汽水湖特有の生物相を理解してもらう。また、参加者自身に採集してもらうことで、よりテーマに対して意欲的に学ぶ機会を設けることができる。

### 【他の博物館・機関や地域社会との連携や取り組み内容】

■観察会においては、日本野鳥の会釧路支部、NPO 法人環境把握推進ネットワーク PEG、釧路市中仁々志別町内会、釧路自然史研究会、釧路自然保護協会などの協力を得ながら実施をし、地域をあげて普及活動に臨む。

### 【特に学校教育との連携について】

■小中学校の理科の野外授業や、地域の総合学習の時間に観察できるような仕組み作りを目指す。プログラム実施後、釧路市内の教頭会や理科教員の研修会にて、広報活動を行い、実施してもらえ働きかけを行う。



## 【事業全体のまとめ】

干潟、川、汽水湖に関する研究機関、博物館へ赴き調査を行うことで、当館独自の3つの観察プログラムを作成することが出来た。特に海に関する観察会が当館では乏しかったことから、新しい分野の観察プログラムを作り上げたともいえる。観察プログラムは小中学校の単元でも利用できるような工夫を施したため、教員が利用することも見込んで作成できた。また、ワークシートを用意することで、参加者には意欲的に海について学べる準備もできた。

観察プログラムを実施した後、実際に小中学校の授業で利用してもらえるよう、釧路市内の教頭会や理科教員の研修会にて、広報活動を行っていききたい。

## 主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. 神奈川県立生命の星・地球博物館	干潟の鳥類の研究、観察プログラム、収蔵資料の調査
2. 千葉県立中央博物館	干潟の鳥類の研究、観察プログラム、収蔵資料の調査
3. 千葉県立中央博物館分館 海の博物館	干潟の鳥類の研究、観察プログラム、収蔵資料の調査
4. アクアマリン福島	河川の魚類の研究、観察プログラム、収蔵資料の調査
5. 千葉県立中央博物館	河川の魚類の研究、観察プログラム、収蔵資料の調査
6. 茨城県自然博物館	河川の魚類の研究、観察プログラム、収蔵資料の調査
7. 島根県立三瓶自然館サヒメル	汽水湖の昆虫の研究、観察プログラム、収蔵資料調査
8. 宍道湖自然館ゴビウス	汽水湖の昆虫の研究、観察プログラム、収蔵資料調査
9. ホシザキグリーン財団	汽水湖の昆虫の研究、観察プログラム、収蔵資料調査
10. NPO 法人 環境把握推進ネットワークPEG	春採湖での観察会実施におけるサポート
11. 釧路市中仁々志別町内会	河川での観察会実施におけるサポート
12. 釧路自然保護協会	河川での観察会実施におけるサポート
13. 釧路自然史研究会	河川での観察会実施におけるサポート
14. 日本野鳥の会釧路支部	干潟での観察会実施におけるサポート

## 主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
1. なし	
2.	
3.	
4.	
5.	

以上